

～昭和39年頃の茂原にタイムスリッポ～

ハロー タウン

第78号

生涯学習情報
●連絡先●
茂原市生涯学習課
☎20-1559

二〇二〇年東京五輪が決まり、災害や不景気で沈んでいた世の中に明るい話題を提供しています。五十年前にも東京オリンピックが行われました。そんな昔の茂原の様子はどんなだったでしょうか？



榎町商店街

として企業が増え、本納町との合併により、人口が増加し、五十年で約二倍以上になっています。

会社の寮、住宅やアパートが増え、商店街にも活気がありました。茂原銀座通り、榎町、そして駅前通りなどに商店が軒を連ね、店の前には買物客の自転車が並びました。まだ砂利道も多く、人々の交通手段として欠か

○人口は四万三千人
昭和三十九年の人口は四万二千八百人でした。天然ガス利用による煙のない工業都市

店交差点にでき、その後、各所に増えていきました。



○今はない庁舎

昭和三十八年の市制十周年を機に、市役所庁舎が完成しました。場所は、現在の市役所の前で、駐車場はなく駐輪場がありました。周囲に住居が少なく、耕地が広がっていました。

茂原工業高校が創設されたのも昭和三十八年です。昭和三十九年には町村合併以前の各地域の農協が合併して茂原農協(現JA)となりました。



道表山から見た当時の庁舎

○茂原駅は…

高架駅ではなく改札口に駅員がいて、早撃ちガンマンのように厚い切符にハサミを入れていました。

その頃は一日平均千八百五十人が利用し、ディーゼル車や汽車が走っていました。現在の乗降客は、一万一千五百人と六倍になっています。



砂利道の残る茂原駅前

茂原駅には南総通運が隣接しており、鉄道貨物の集配を担っていました。新茂原駅は、単線で上下線が共用のホームで小さな木造駅舎でした。

○銭湯がありました

昭和三十九年の銭湯の入浴料は二十三元。お風呂がないアパートの生活者には欠かせないものでした。料金は、二十年後の昭和五十九年には二百四十六円と十倍になって

います。茂原市内には六カ所ありましたが、今は桜湯のみが営業しています。



○映画館は五館

この頃の娯楽の中心は映画で、四万三千人の街に映画館が五つありました。東宝・日活・東映・松竹系茂原劇場、洋画専門の銀映などで、人々が足を運びました。

館名	所在地	現在の位置
東宝	茂原365	千葉銀行茂原支店付近
日活	千代田町1-9	駅前郵便局 駅寄り
茂原銀映	高師828	駅前郵便局 東方面
東映	茂原471	商工会議所 付近
茂原劇場		

○新たな高速道路が

前回のオリンピックの年には東京に首都高速道路ができましたが、今回のオリンピックを前に茂原に圏央道が開通しました。七年後には、世界へ翔く茂原市でありたいというものです。